



笠間市社会福祉協議会

下市毛地区

社協だより

第12号

自主防災訓練

自主防災会代長 飯塚 信一

15区の皆様には、常日頃自主防災訓練にご協力を頂きありがとうございます。平成30年11月25日(日)に43名の参加を頂き防災訓練を実施いたしました。

今年度、6月18日大阪府北部地震、震度6弱の地震が発生・7月5日から7月6日にかけての西日本豪雨被害・9月5日台風21号の暴風高潮被害・9月6日の北海道胆振東部地震、震度7の地震が発生・9月30日台風24号が接近し、10月1日未明県内各地で暴風による被害が相次ぎ、笠間市では観測史上最大の35.4mを記録し長時間にわたり停電が発生するなど、各地において甚大な被害をもたらしました。

想定として、首都直下地震が発生、平成30年11月25日午前10時頃都心南部においてM7.3最大震度7、茨城県震度6弱の地震発生、市内各地で建物倒壊等の被害が発生したことを想定としました。

今回笠間消防署員3名を講師として招き、又、日頃防災意識の啓発運動、消防活動をしていただく消防団第1分団5名の支援をいただき、火事と救急119番通報訓練、消火器による初期消火訓練、下市毛会館ホールでの煙体験を実施いたしました。煙体験については、有毒ガスが発生した場合での行動は大変であることを体験いたしました。炊き出し訓練については、しだれ桜ボランティアによる野外での薪による炊飯を実施しレトルトカレーの試食会を実施いたしました。

災害が発生した時、迅速かつ的確な対応処等を行なうためには、日頃からの訓練が必要となりますので、引き続き訓練を実施していきたいと思ひます。

